

まちの話題

島倉千代子さん、51年ぶりコンサート

12月19日、大屋町明延で歌手の島倉千代子さんが51年ぶりにコンサートを開きました。

会場となった明延自然学校の食堂には多くのお年寄りたちが集まり、島倉さんの歌声に華やかだった往時の記憶を重ねました。

住民が手作りした「お帰らないさい、お千代さん」の看板が掲げられた舞台に、島倉さんは振り袖姿で登場しました。

「51年前は、私はまだ二十歳でした。家にある一番派手な振り袖を用意して参りました」と会場を沸かせました。セーラー服にもんぺ姿を

雪のプレゼントに大はしゃぎ

12月6日と7日、明石市との交流事業「雪のプレゼント」を明石市内のシヨップピングセンターと保育所などで行いました。この事業は、ハチ高原スキー場で造られた人工雪を届け、スキー場などへの誘客と雪を見る機会が少ない明石市民に雪に親しんでもらうことを目的に、養父市、氷ノ山鉢伏観光協会、養父市商工会青年部が行っています。

6日は、明石市のシヨップピングセンターに雪が届けられ、買物に訪れた多くの親子連れで賑わいました。初めて雪に触れる子どもたちも多く、「冷たいけどおもしろい」と大喜びでした。翌7日には、明石市立錦が丘幼稚園と私立明光保育園に雪を届け、園庭に造られた雪の滑り台に園児たちは大喜びでした。



雪の滑り台に大喜びの子ども



「東京だヨおっ母さん」を熱唱する島倉さん

披露したり、ヒット曲「人生いろいろ」を合唱しました。「東京だヨおっ母さん」では、会場で最高齢の友村まつるさん(89歳)をステージに呼び、手を取り合って歌いました。「おかあさん」と叫ぶと、ハンカチで涙をぬぐう人もいました。熱唱した後は客席に降り、住民一人ひとりの手を握りました。

災害時における協定書を締結

養父市など但馬3市2町と兵庫県自動車整備振興会但馬支部(山本順一支部長)は12月2日、兵庫県豊岡総合庁舎で、「災害発生時における障害物除去等の協力に関する協定書」の調印を行いました。

この協定は、阪神・淡路大震災において、路上に放置された車両や障害物が通行の妨げになり、消防車などの緊急自動車や物資の輸送が遅れるといったこともありました。この協定締結により、災害時における迅速な障害物の撤去や除去されることにより、地域防災力のより一層の強化が図れるものと期待されます。

同振興会は自動車整備を通して広く社会に貢献することを目的に、昭和26年に設立された公益法人です。



災害時の協力体制強化を確認